第２６回大分県障害者技能競技大会

製品パッキング　競技課題

１．課題

競技課題１　緩衝材Ａ・Ｂの組立【各10箱　計２０箱／２５分】
競技課題２　化粧箱蓋・身　　【各12箱　計２４箱／３０分】

２．実施内容及び実施手順

（１）競技課題ごとに競技の説明・練習を行います。その後競技を始めます。
（２）完成した時点で、手をあげます。
（２）各競技は、詳細説明図のとおりです。

※詳細説明図は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に影響が出る方法でなければ審査の減点対象になりません。

３．注意点

競技の際は、必ず手袋を着用してください。

※手袋は各自で準備すること。

４．実施時間

全体説明：１０分　　各競技課題の説明：各５分×２　各競技課題練習：各７分×２

競技課題１：２５分　　競技課題２：３０分

«競技の流れ»

全体説明	競技課題1 説明	競技課題1 練習	競技（本番）	⇒	休憩	⇒	競技課題2 説明	競技課題2 練習	競技（本番）
１０分	5分	７分	２５分		１０分		5分	７分	３０分

→ 競技の流れ

5．競技審査のポイント

①規定された数量を時間内で作成できたか

（完成した時点で、手をあげます。）

②作業周りはきれいか（資材を落としていないか。床に落ちたゴミはそのままにしておいてください。）

③各箱の外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか

6．競技レイアウト

・机は計２台使用しクの字に設置

・材料の置き位置と作業エリアは自由

7．会場に準備されているもの（選手１人当たりの支給材料）

	材料名	数量	単位	備考
競技用材料（本番用）	緩衝材 A	10	枚	
	緩衝材 B	10	枚	
	化粧箱　蓋	12	枚	
	化粧箱　身	12	枚	

競技用材料（練習用）	緩衝材 A	3	枚	
	緩衝材 B	3	枚	
	化粧箱　蓋	3	枚	
	化粧箱　身	3	枚	

共通	ゴミ箱（段ボール）	1	箱	

8．選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
手袋	2	双	破れた場合を考慮し予備分１双を含む

9．注意事項

①服装について

・作業着または運動着が望ましい。スカートやフリルが付いているもの、短パンやスリッパ、サンダルなど作業に適さない服装は避けてください。指輪などの装飾品も避けてください。

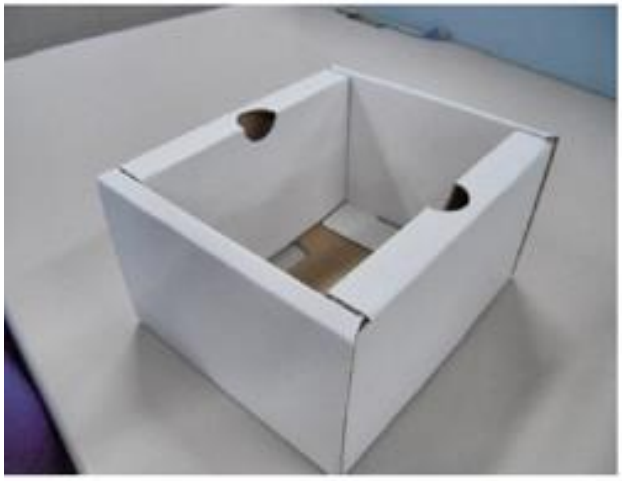
②その他

・熱中症対策として飲料を必ず持参してください。

完成図

緩衝材

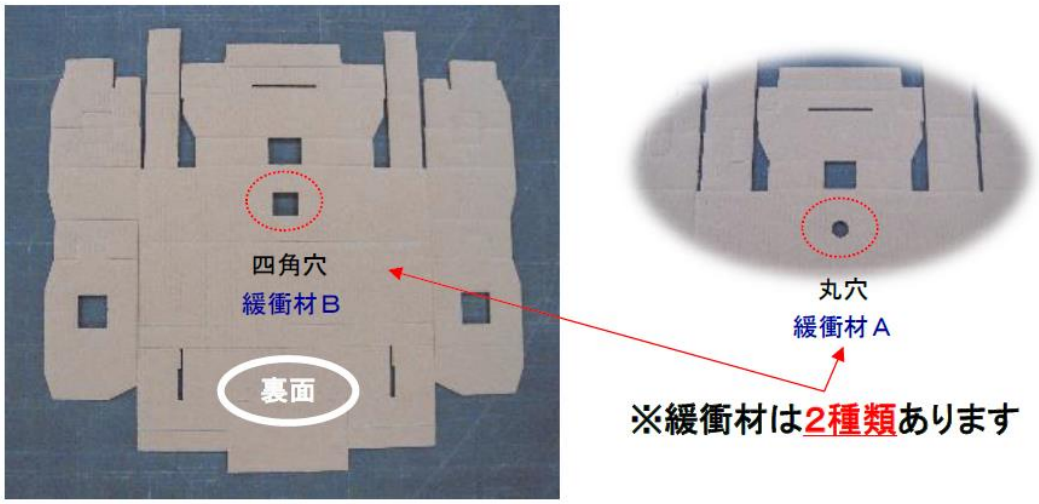
化粧箱身



化粧箱蓋

【競技課題１】　緩衝材の組立

展　開　図

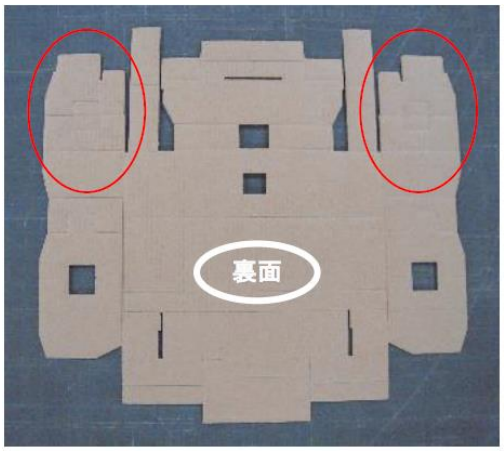


※段ボールの筋、凹んだ折れ線がある方が裏面（内側）になります

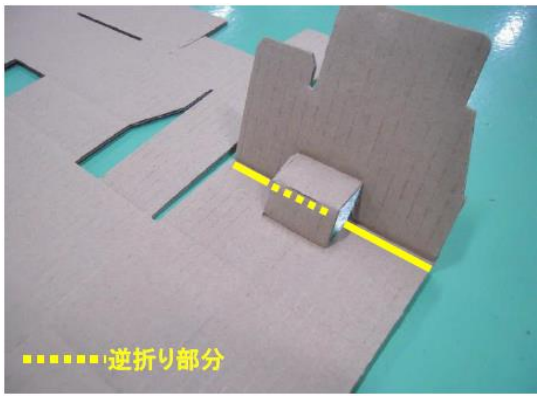
組立完成図

1．緩衝材は２種類あるが、基本的な折り方は共通。（写真は緩衝材Ｂ）

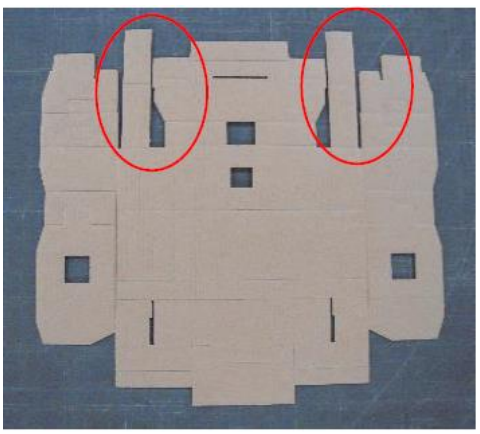
緩衝材の裏面を上にして折る。
最初に○印部分の箇所から折る。

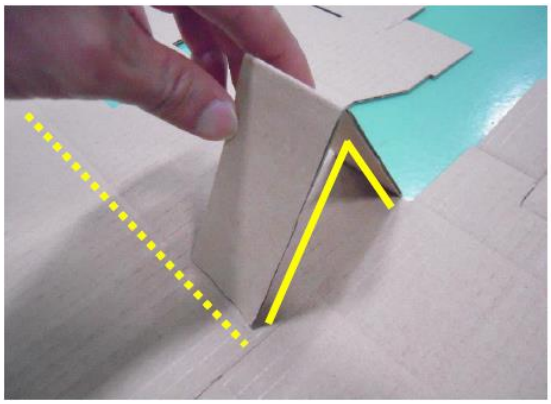


2．本体の袖部分２ヶ所に折り目を付ける。



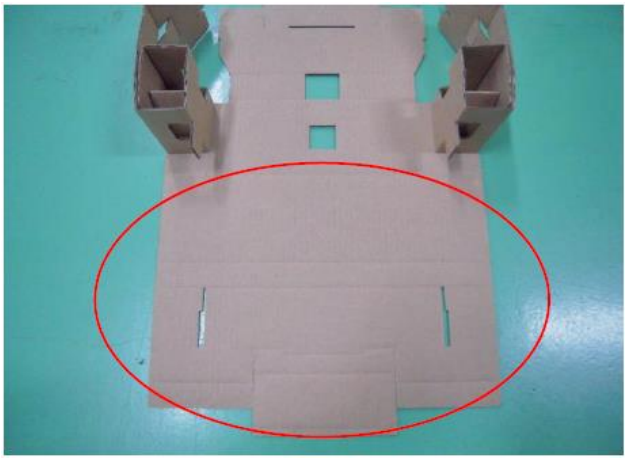
3．○印部分を点線部分の罫線に合わせ折り込み三角をつくる。



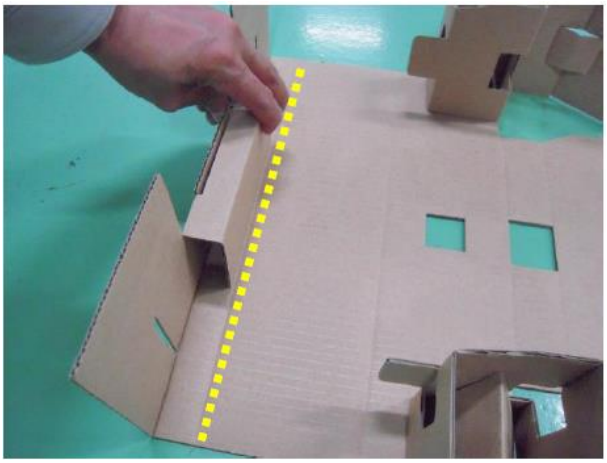


4．袖部分を立ち上げ、３で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。

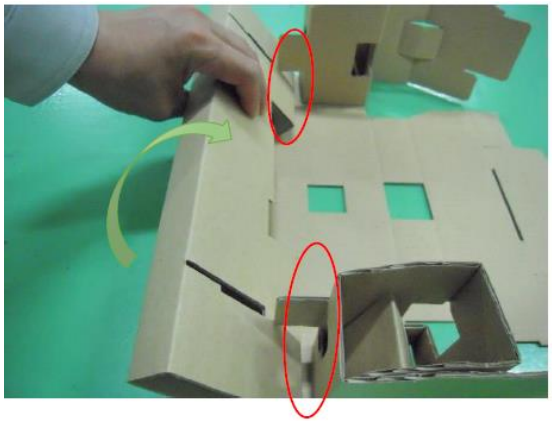
5．○印部分を折る。



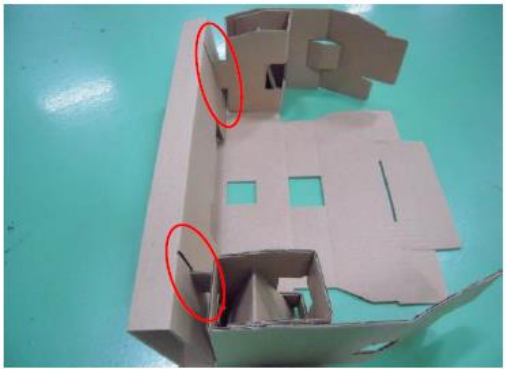
6．中心部を点線部の罫線に合わせて折る。

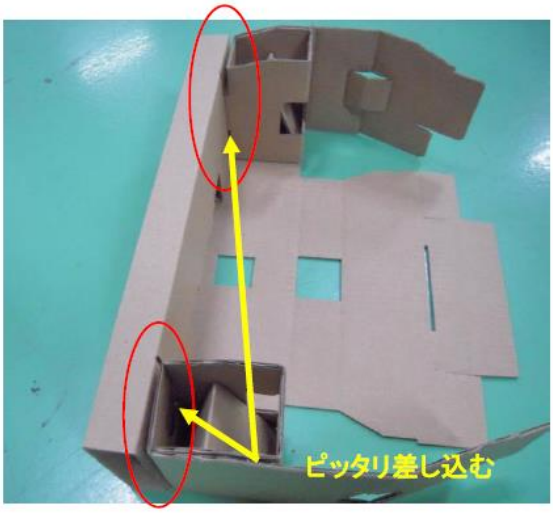


7．両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。

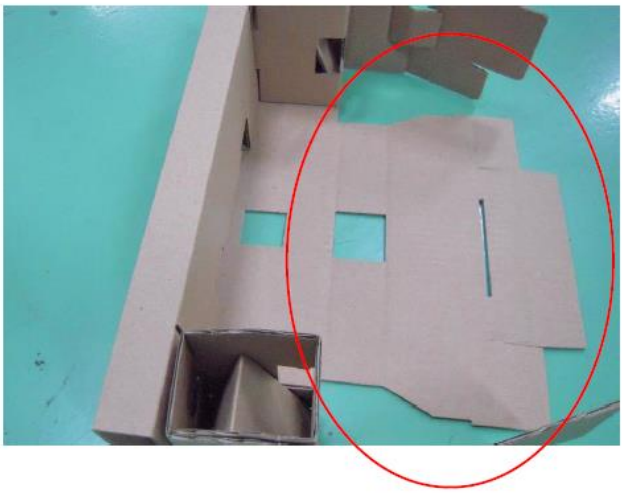


8．○印部分の穴に袖の凸部分を差込みながら全体を立ち上げ折り込む。

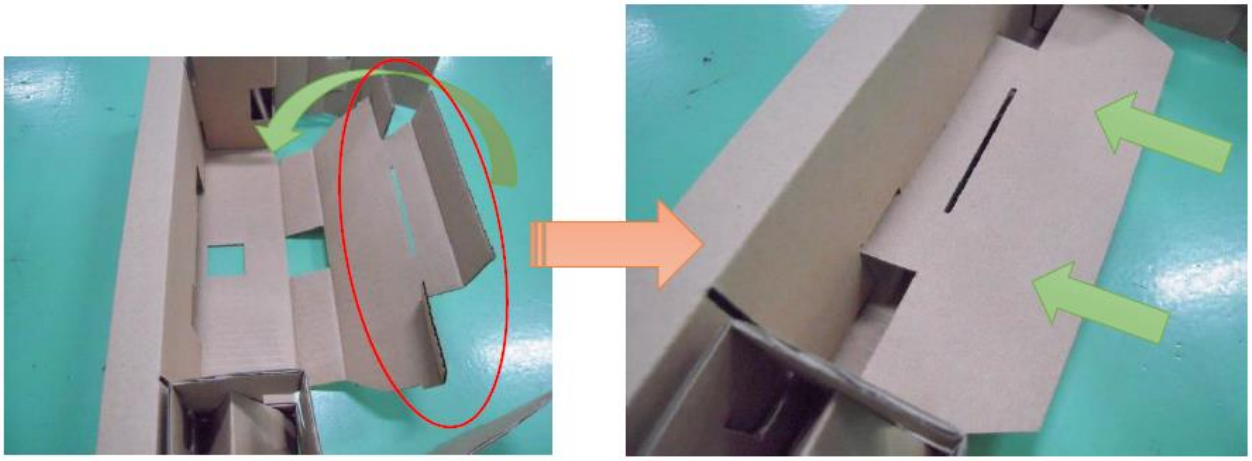




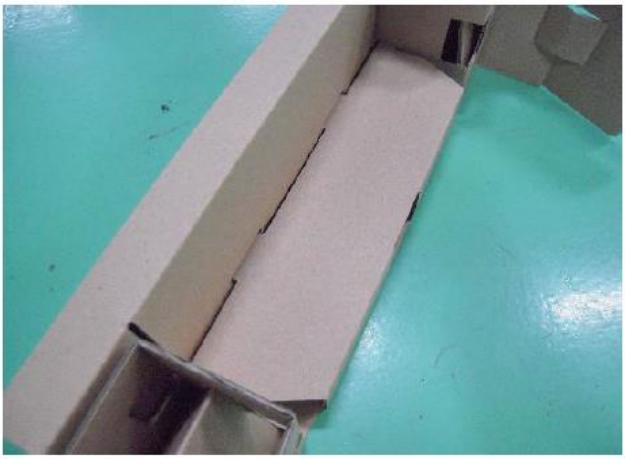
9．○印部分を折る。



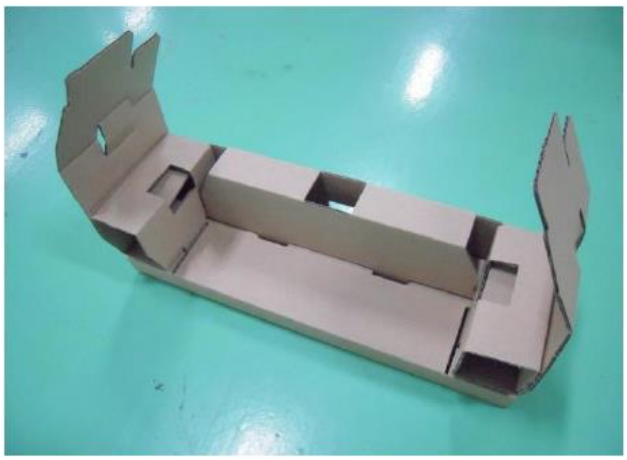
１０．先端部３箇所を折りながら矢印方向に折り込む。



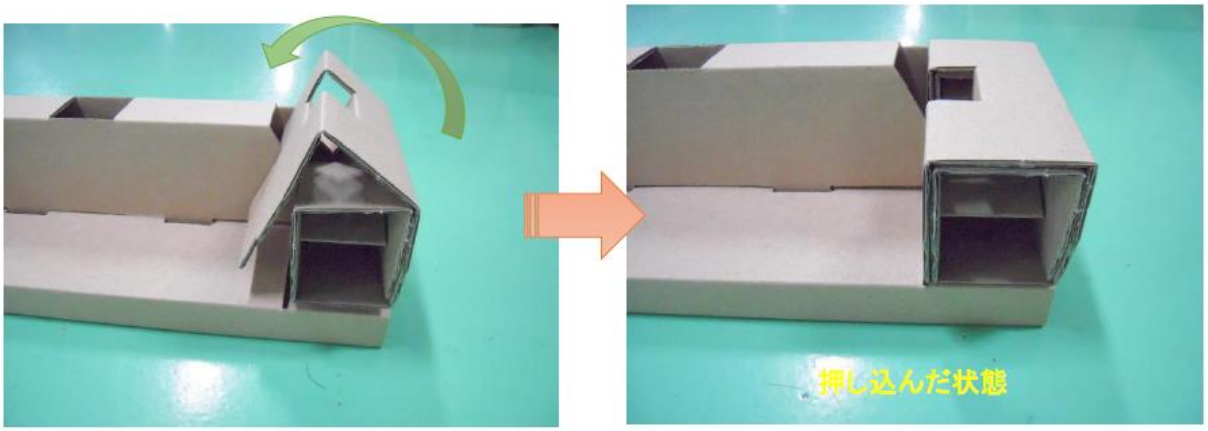
１１．全体を折りこみ、本体にピッタリと押し込む。



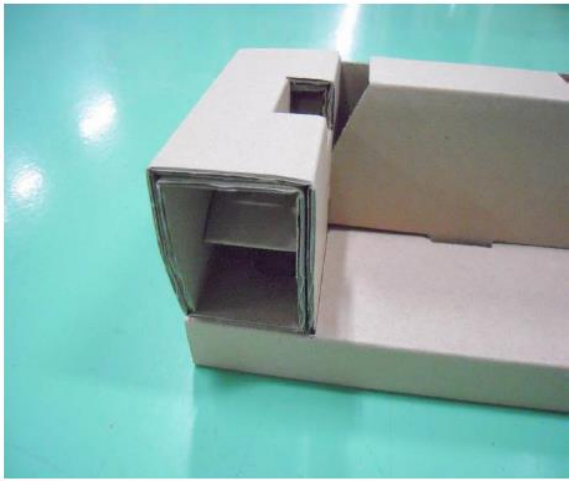
１２．袖部分が上にくるように向きを変える。



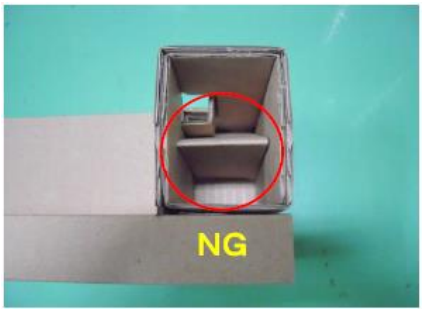
１３．袖部分を罫線に合わせて折り込み、先端部分を本体に差し込む。

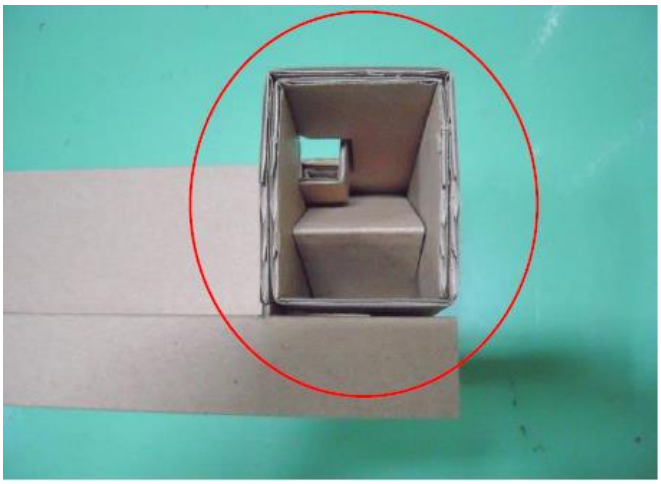


１４．反対側も同様に、本体に差し込む。



１５．はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認して完成。
これを緩衝材Ａと緩衝材Ｂそれぞれ 10個ずつ完成させる。



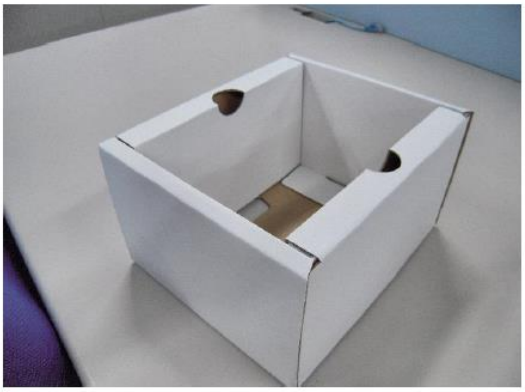


【競技課題２】　化粧箱身の組立①

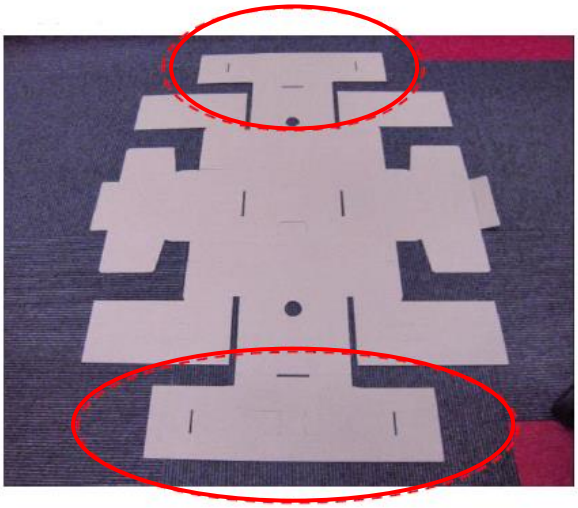
化粧箱身展開図

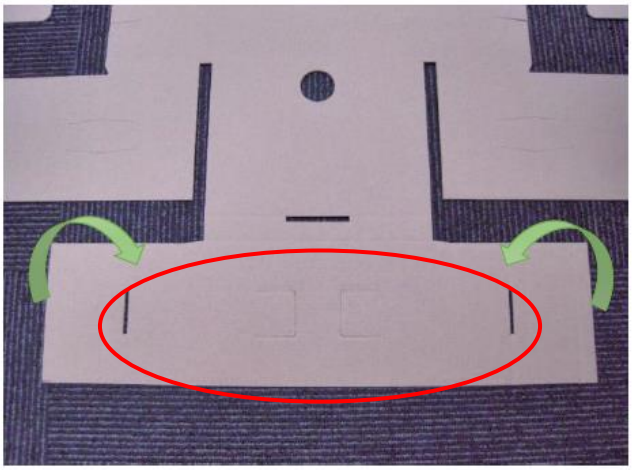
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

化粧箱身完成図

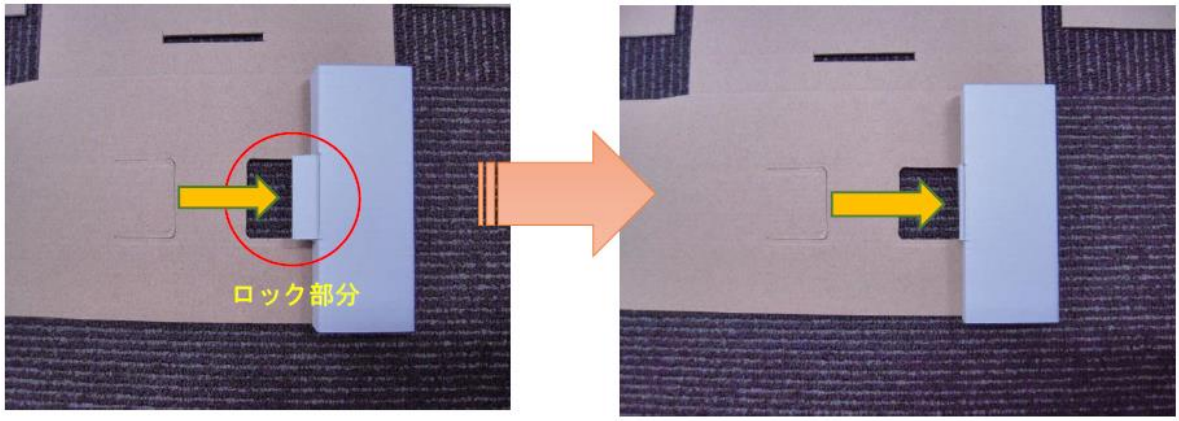


1．○印部分を折る。端の部分を内側に巻くように罫線を合わせて折る。

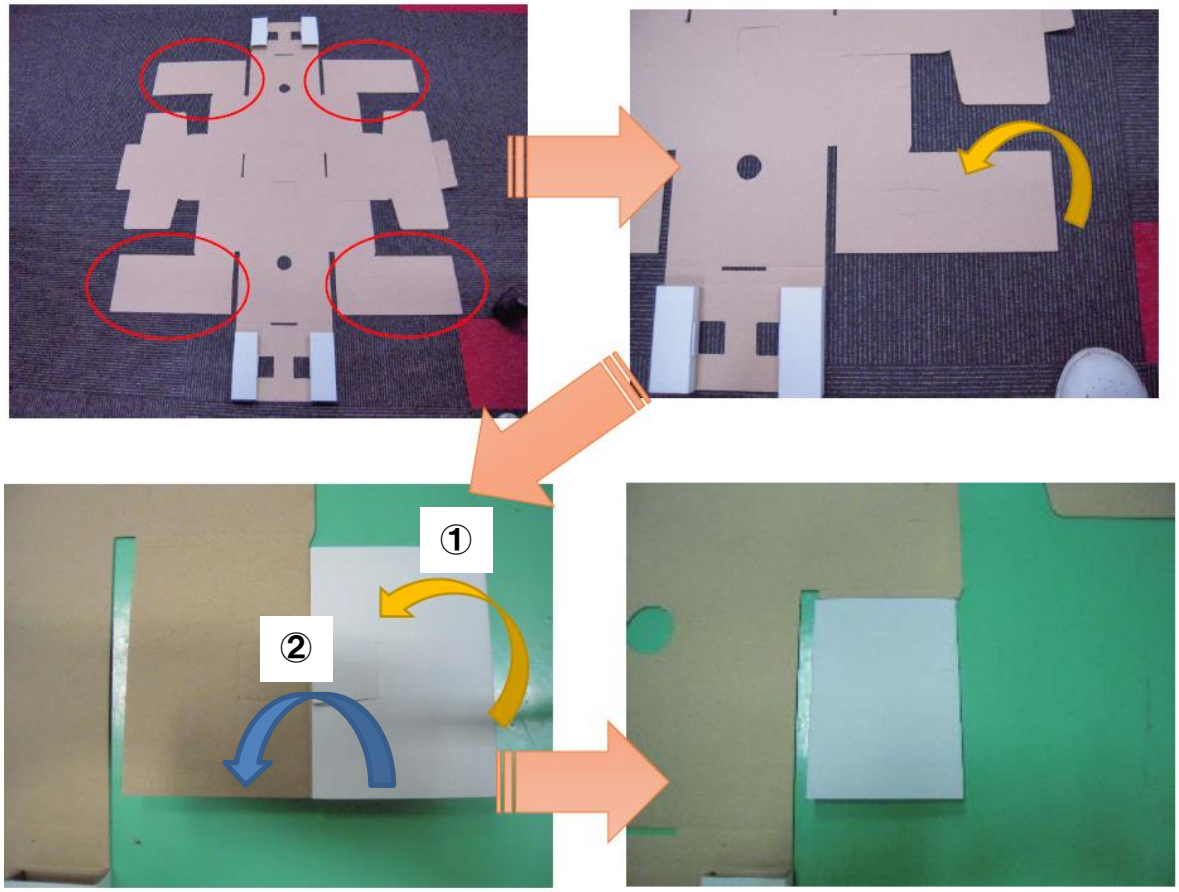




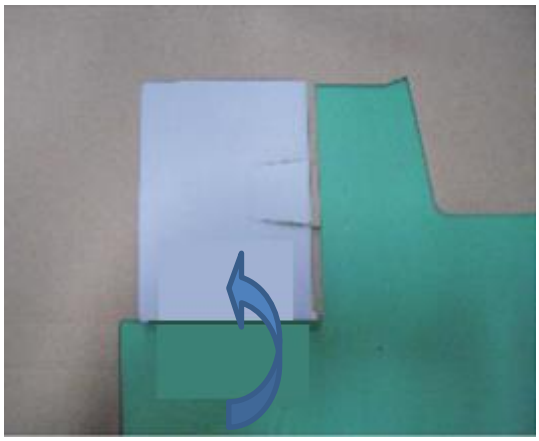
2．折った部分の穴にロック部を下から立ち上げ差し込む。これを４ヶ所、同様に折る。



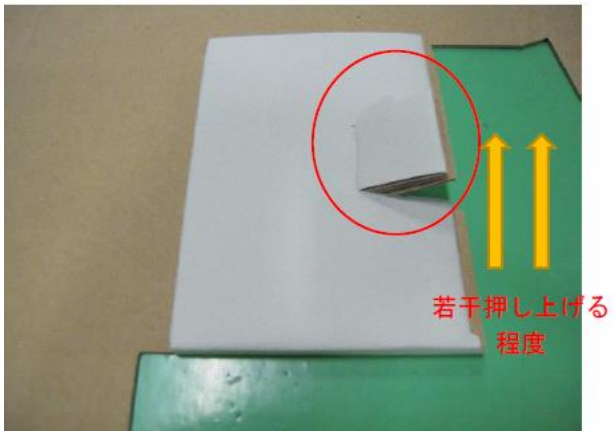
3．○印部分を端から線に合わせて内側に折る。



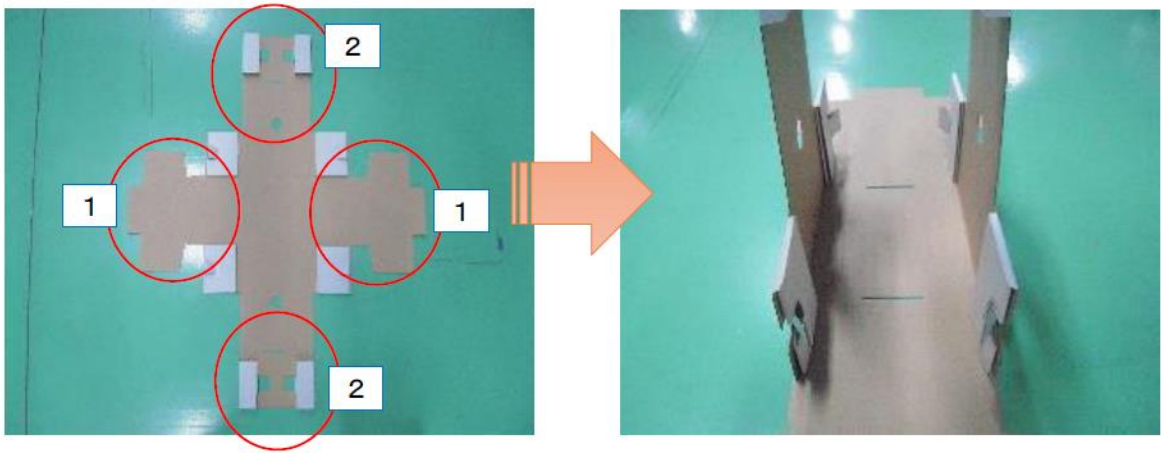
4．下から上に折る。



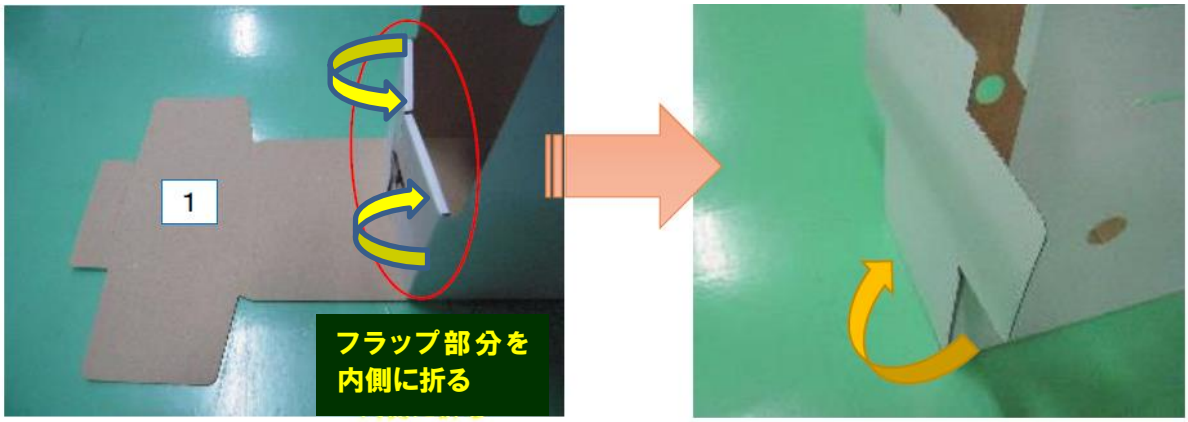
5．ロック部分を下から押し上げロックする。これを各部、計４ヶ所同様に折る。



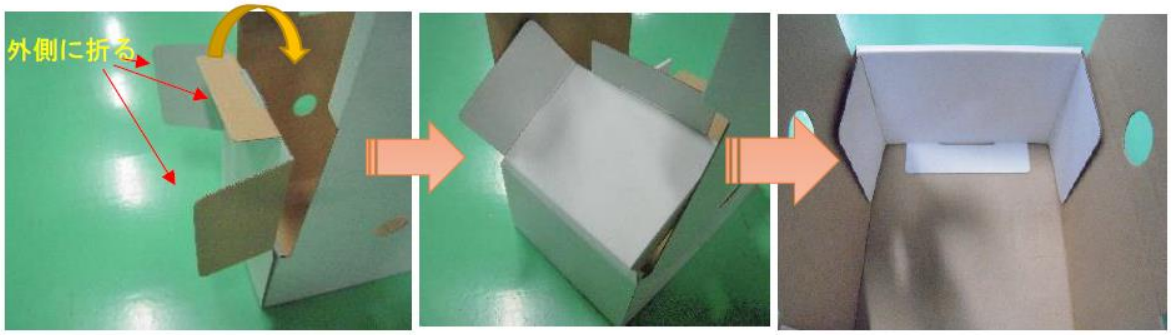
6．2の部分を立ち上げる。



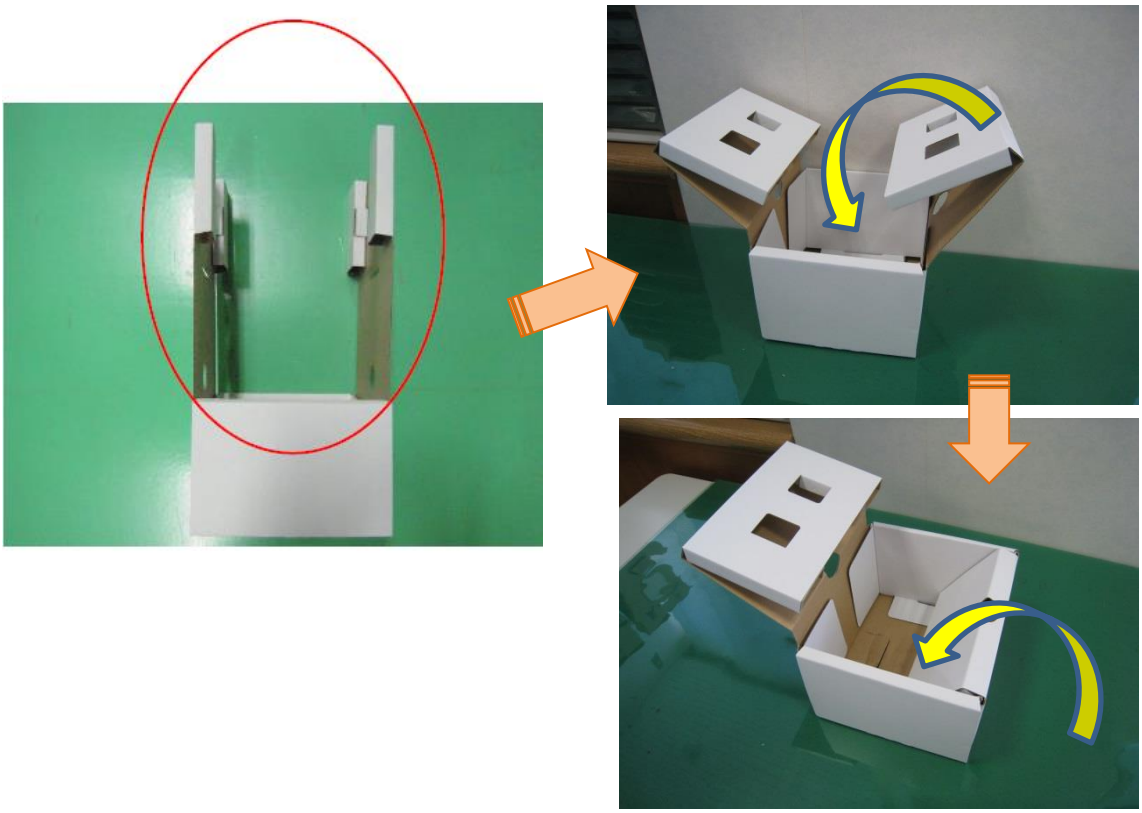
7．フラップ部分を内側に折り、1の部分を立ち上げる。



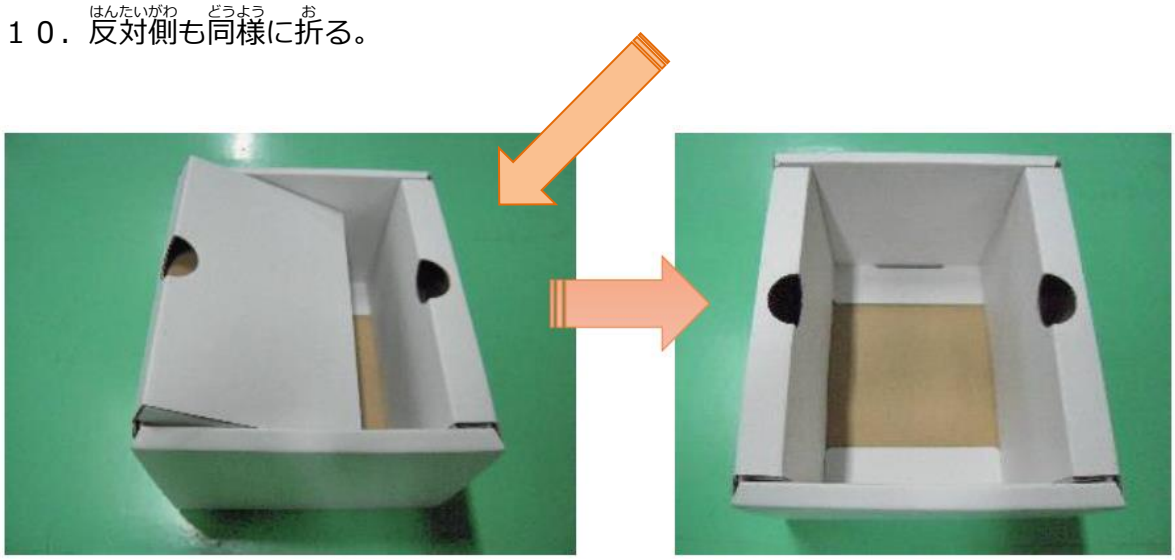
8．1の部分の先端を外側に３ヶ所折り、本体内側に折り込む。



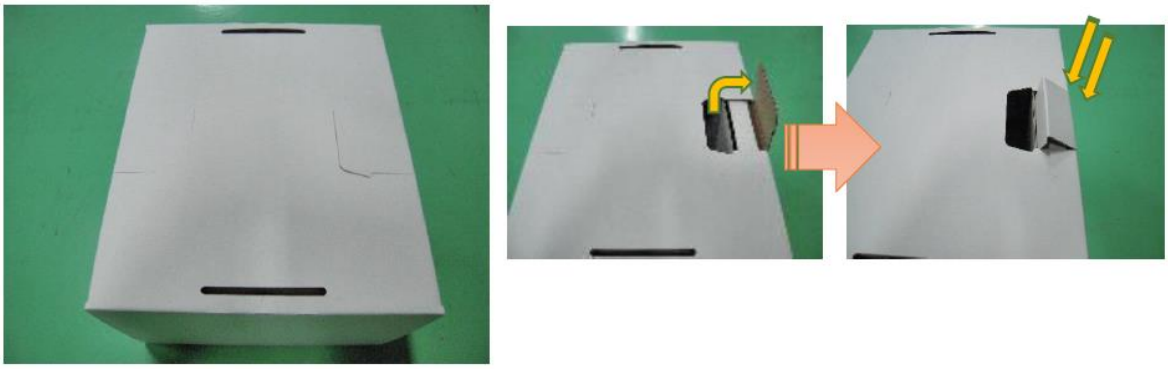
9．2の端の部分から線に合わせて折り、額の部分が平らになるまで中に折り込む。



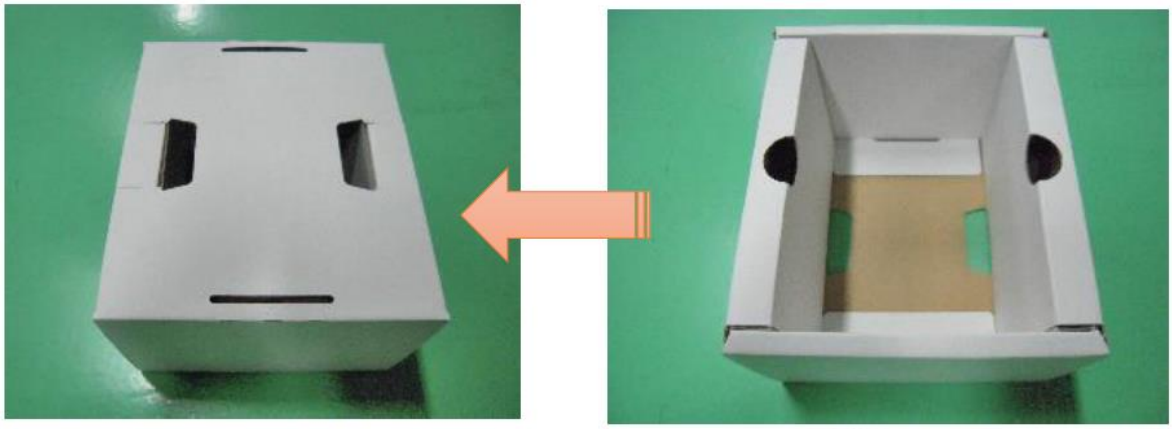
１０．反対側も同様に折る。



１１．裏（下）側を上にして、ロック部分を裏側から押し出し、２の穴に挿入する。反対側も同様に穴に挿入する。

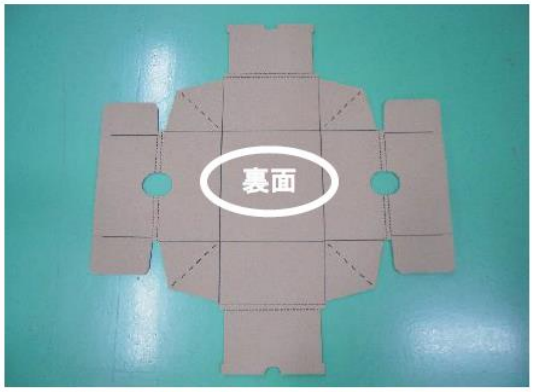


１２．２ヶ所のロックができたら、底部を下に向きを変えて完成。
これを 12個完成させる。



【競技課題２】化粧箱蓋の組立②

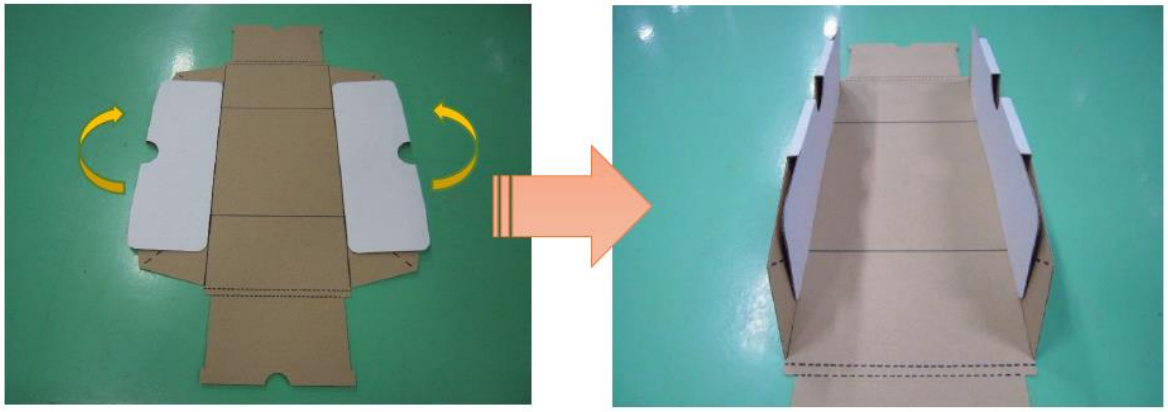
化粧箱蓋展開図



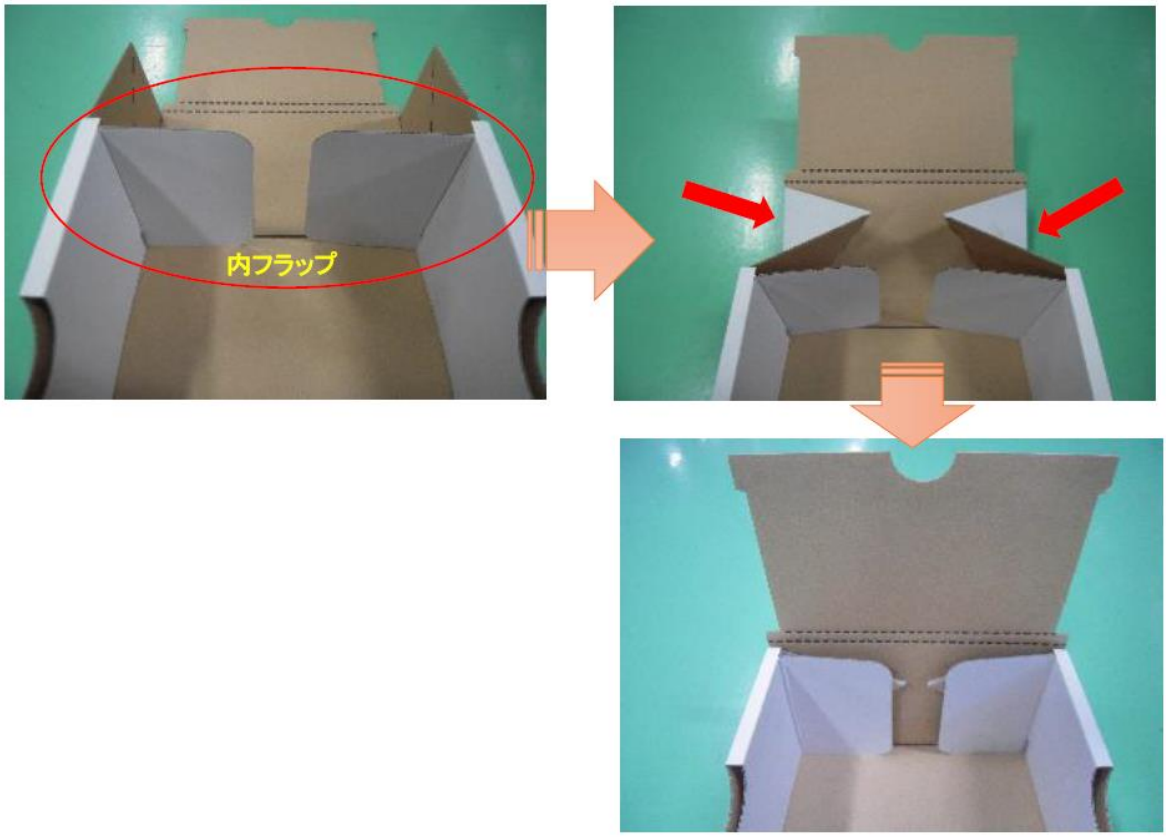
化粧箱蓋完成図

※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

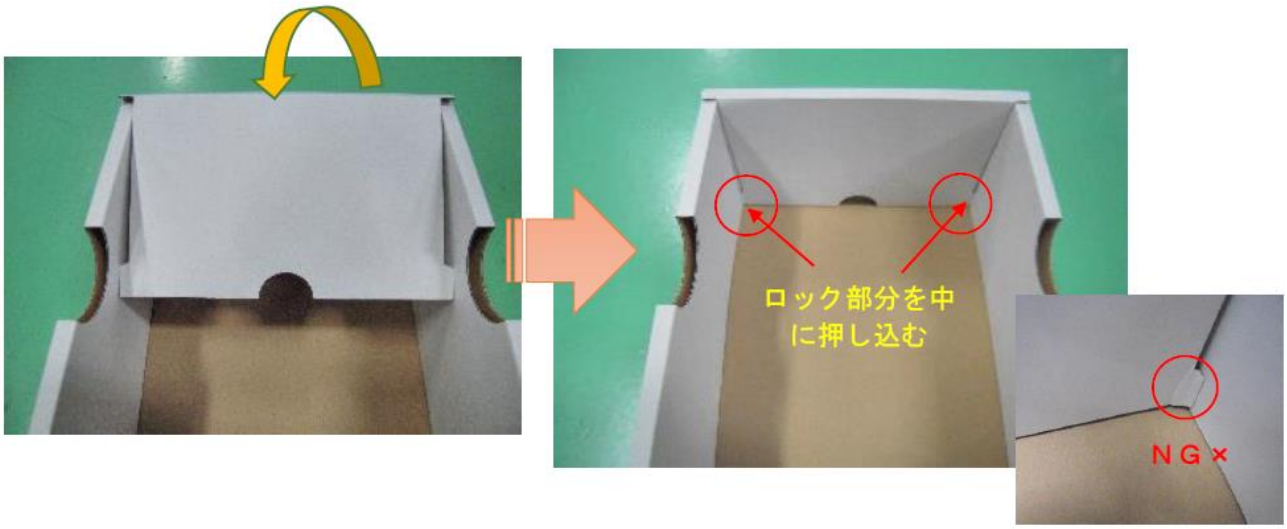
１．額部分を内側に下り、額部分全体を立ち上げる。



2．内フラップを内側に折る。その後に、外側フラップのミシン目を内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3．側面を内側に折り込み、ロック部分を中に押し込む。



４．反対側も同様に折り完成。
これを 12個完成させる。